ADK-BPD1011TV

Revo Portable DVD Player+TV

地上デジタルチューナー内蔵
防水ポータブルDVDプレーヤー

取扱説明書
保証書付

●このたびはADK-BPD1011TVをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
●お使いになる前に、この説明書をよくお読みの上、正しく理解されてからお使いください。
●お読みになった後は、本書を大切に保管してください。

もくじ

ご使用前の準備と確認

■安全上のご注意…… 1
■使用上のお願い…… 5
■お使いになる前に…… 6
再生できるディスク…… 6
ディスクに関する用語…… 7
ディスクの取扱いについて…… 7
ディスクの保管について…… 7
■各部の名称…… 8
本体…… 8
付属品…… 9
■リモコンの使い方…… 11
リモコン電池の交換方法…… 11
使用方法…… 11
■外部機器との接続…… 12
テレビとの接続…… 12
レコーダーとの接続…… 12
イヤホンで音声を聴く…… 12
SDカードの接続…… 12
■電源について…… 13
ACアダプターで使う…… 13
車用シガーアダプターで使う…… 13
■内蔵バッテリーについて…… 14
バッテリーを充電する…… 14

使い方

■DVDを再生する…… 15
DVDの基本操作…… 15
DVDの色々な操作…… 17
■機能設定…… 19
機能設定の方法…… 19
設定項目…… 19
■CDを聴く…… 22
CDの再生…… 22
CD再生時の画面表示…… 22

もくじ（つづき）

使い方

■MP3を聴く…… 23
MP3の再生…… 23
■JPEG画像を見る…… 24
JPEGの再生…… 24
■メディア／ファイルについて…… 26
写真・音楽の再生について…… 26
SDカードについて…… 26
■テレビ放送を視聴する…… 27
本機で視聴できるテレビ放送…… 27
地上デジタル放送に関して…… 27
ワンセグ放送に関して…… 27
miniB-CASカードを入れる…… 28
アンテナの準備…… 29
テレビ放送の視聴準備…… 30
テレビ放送の操作…… 31
テレビ放送の設定…… 32
設定項目…… 32

必要な時に

■トラブルシューティング…… 34
■注意事項…… 37
液晶パネルについて…… 37
ブロックノイズについて…… 37
コピーコントロールCDについて…… 37
防水について…… 37
免責について…… 37
■本機を廃棄するときのお願い…… 38
■製品仕様…… 40
■保証書…… 41
■MEMO…… 42
■お問合わせ先…… 44

安全上のご注意　お使いになる前に必ずお読みください。

●ご使用の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と図記号の意味は次のようになっています。

■表示の説明

表　示	表 示 の 意 味
⚠危険	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷(*1)を負う可能性が想定され、かつその度合いが高い内容を表示します。
⚠警告	"取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること"を示します。
⚠注意	"取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること"を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど(高温･低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院･長期の通院を要するものをさします。
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが･やけど･感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋･家財および家畜･ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の例

図 記 号	図 記 号 の 意 味
⃠	"⃠"は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
❗	"❗"は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

異常や故障のとき　⚠警告

煙が出たり、異常なにおいや音がするときは、すぐに電源を切りACアダプターをコンセントから抜くこと
そのまま使用すると、火災･感電の原因となります。

内部に水や異物が入ったら、すぐに電源を切りACアダプターをコンセントから抜くこと
そのまま使用すると、火災･感電の原因となります。

落としたり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源を切りACアダプターをコンセントから抜くこと
そのまま使用すると、火災･感電の原因となります。

電源コードが傷んだり、ACアダプターが異常に発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、冷えたのを確認してACアダプターをコンセントから抜くこと
そのまま使用すると、火災･感電の原因となります。

安全上のご注意(つづき)　お使いになる前に必ずお読みください。

設置されるとき　⚠警告

浴室などの水周りで使う場合は、必ず充電済みの内蔵バッテリーで使用すること
ACアダプターを使用すると感電や故障の原因になります。

ACアダプターは交流100Vのコンセントに接続し、付属のものを使用すること
付属品以外を使用したり交流100V以外を使用すると、火災･感電の原因となります。
DCプラグはDC12V専用です。

ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと
本機が落ちて、けがの原因となります。

上に物を置かないこと
金属類や、花びん･コップ･化粧品などの液体が入った場合、火災･感電の原因となります。
重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

ご使用になるとき

修理･改造･分解をしないこと
火災･感電の原因となります。
点検･調整･修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

ディスクトレイに異物を入れないこと
金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災･感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

雷が鳴りだしたら、本機に触れないこと
感電の原因となります。

電源コードは
傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと
引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと
無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと
火災･感電の原因となります。

お手入れについて

電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、ACアダプターを抜きゴミやほこりを取ること
電源プラグの絶縁低下により、感電の原因となります。

設置されるとき　⚠注意

温度の高い場所に置かないこと
直射日光の当たる場所・締め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

禁止

湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと
加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

風通しの悪い場所に置かないこと
内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
・壁に押しつけないでください。
・押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
・テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
・じゅうたんやふとんの上に置かないでください。
・あお向け、横倒し、逆さまにしないでください。

禁止

移動させる場合は、ACアダプター・外部との接続線を外すこと
ACアダプターを抜かずに運ぶと、コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続線などを外さずに運ぶと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。

指示

ご使用になるとき

ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと
コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。
必ず電源プラグを持って抜いてください。

引っ張り禁止

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜くこと
万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

ディスクトレイに、手を入れないこと
指をはさみ、けがの原因となることがあります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと
ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

禁止

故意に水中に沈めないこと
故障の原因になります。

禁止

ディスク/外部接続端子カバーの開閉は十分に水気を拭き取ったのち、湿気がなく水がかからない場所で乾いた手で行うこと。
湿気の高い場所などで行うと故障の原因になります。

禁止

ご使用になるとき　⚠注意

リモコンに使用している電池は、
「 指定以外の電池を使用しないこと 」「 極性(+)(ー)を間違えて挿入しないこと 」「 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れたりしないこと 」「 電池に表示されている【使用推奨期限】を過ぎたり、使い切った電池をリモコンに入れたまま放置しないこと 」

これらを守らないと、液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

禁止

防水について

ディスク／外部接続端子カバーをしっかりと閉じた状態の本体は、IPX7（旧JIS防水保護等級7　防浸形）付属品のリモコンは、IPX6（旧JIS防水保護等級6　耐水形）相当の防水性能を有しております。雨や水しぶきがかかる場所でも使用できる仕様となっておりますが、すべての状況での動作を保証するものではありません。以下の点に十分ご注意ください。

●本体の防水性能は、常温（5℃～35℃）の真水・水道水にのみ対応しています。以下の例のような液体をかけたり、浸けたりしないでください。また、砂や泥なども付着させないでください。
（例：石鹸・洗剤・入浴剤などの入った水／海水／プールの水／温泉／熱湯／薬品／汗／砂／泥）
●強い流水（6リットル／分を超える）や高い水圧を直接かけたり、水面に落下させたり、水中に沈めたりしないでください。
●周囲温度5℃～40℃（ただし、36℃以上はお風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度35%～90%の範囲で使用してください。
●本体とリモコン以外の付属品は防水機能を有していません。水に濡れるような場所では使用しないでください。
●急激な温度変化は、結露の原因となります。寒いところから暖かい浴室などに本体を持ち込む時は、本体が常温になってから持ち込んでください。
●熱湯・サウナ・熱風（ドライヤーなど）などは使用しないでください。故障の原因となります。
●落下させるなど本体に強い衝撃を与えないでください。防水性能が維持できなくなる場合があります。
●本体が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
●ディスク／外部接続端子カバーを開閉するときは十分に水滴をふき取り、水のかかる恐れのない場所に運んでから乾いた手で行ってください。
●浴室、シャワー室などの水まわりではACアダプターや他のAV機器との接続はしないでください。また、ディスク／外部接続端子カバーが確実に閉まっていることを確認してご使用ください。
●製品を水まわりから移動するとき、製品のすき間に水がたまっている場合があります。柔らかい布でふき取ってください。
●浴室、シャワー室などの湿度の高い場所には長時間放置しないでください。
●ディスク／外部接続端子カバーまわりのゴムパッキンは、防水機能を維持するための重要な部品です。汚れや傷がつかないように注意してください。また、ゴムパッキンにゴミ等が付着した場合、水がかかる恐れのない場所で柔らかい布でふき取ってください。
●水がかかるとタッチパネルが動作することがあります。

故意に水中で使用したり、ディスク／外部接続端子カバーを開いた状態で水まわりで使用されると内部に水が浸入する恐れがあります。水の浸入による製品の故障については保証期間内でも保証対象外となりますのでご注意ください。

使用上のお願い

◎取り扱いに関すること

■移動させるときは
　引越などで、遠くへ運ぶときは、傷がつかないようにタオルなどでくるんでください。
■殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
　長時間ご使用になっていると本機が多少熱くなりますが、故障ではありません。
■ふだん使用しないときは
　必ず、ディスクを取り出し、電源スイッチを切っておいてください。
■長期間使用しないとき
　機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、使用してください。

◎置き場所に関すること

■本機は水平な場所に設置してください。ぐらつく机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。ディスクが外れるなどして、故障の原因となります。
■本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中、画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

◎お手入れに関すること

　キャビネットや操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
■よごれがひどいときは、布を水でうすめた中性洗剤にひたし、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン、シンナーは絶対に使用しないでください。変色したり、塗装がはがれたりするなどの原因となります。
■化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

◎日本国内用です

本機を使用できるのは日本国内のみです。外国では電源電圧が異なりますので使えません。

◎結露(露付き)について

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

○"結露"は以下の状況で発生しやすくなります。
◇本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
◇暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき
◇夏季に、冷房のきいた部屋･車内などから急に温度･湿度の高いところに移動して使用したとき
◇湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき

■結露が発生しそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。

　結露が発生した状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源プラグをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたたまり、2～3時間で水滴がとれます。またコンセントに接続しておくと"結露(露付き)"が生じにくくなります。

お使いになる前に

再生できるディスク

本機では下記のディスクが再生できます。

	マーク（ロゴ）	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオ	DVD VIDEO	映像(動画)+音声	12cm
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音　声	12cm

また、以下のメディアも再生することができます。
●DVDビデオフォーマットで、且つファイナライズされたDVD-Rディスク
●CPRM/VRモードで地デジ放送を録画し、且つファイナライズ処理されたDVD-Rディスク
●ビデオモードでアナログ放送を録画し、且つファイナライズ処理されたDVD-Rディスク
●CD-DAフォーマット(音楽用CD)のCD-Rディスク
●MP3、WMAまたはJPEG形式のファイルが記録されたCD-Rディスク

※上記のディスクであっても、録画されたDVDレコーダーとディスクと本機との相性により再生できない場合もありますので、予めご了承ください。
※パソコンにて録画されたディスク、DVDレコーダー以外の機器によって作成されたディスク、短い収録時間のディスクでは再生できない場合もありますので、予めご了承ください。
※本機はNTSCテレビ方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式(PAL、SECAM)表示のディスクには使用できません。
※DVD±R　DLには対応しておりません。また、MP3等のデータは状況により再生できない場合があります。ファイナライズ未処理のディスクは再生できませんので、ご注意ください。

■CPRMについて

CPRMとは「Content Protection for Recordable Media」の略で、コピーを制限する著作権保護技術のことです。デジタル放送をディスクにダビングし再生するには、CPRM対応のディスクと再生機器が必要になります。

■ファイナライズについて

ファイナライズとは、映像をダビングしたディスクと再生機器の互換性を高めるための処理のことです。例えば、映像をダビングしたディスクを再生する場合、そのディスクにダビングをした機器(DVDレコーダー等)では再生が可能なのに、同じディスクを他の機器で再生しようとするとディスクエラーとなる場合があります。これは、ダビングを行った機器ではディスクにデータが記録されている場所が認識できますが、それ以外の機器ではデータの場所が分からないために起こる現象です。このような事態を避け、そのディスクに記録したデータを他の機器でも再生可能なデータ配列にするためにファイナライズという処理が必要になります。

お使いになる前に（つづき）

ディスクに関する用語

一般に、DVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。音楽用CD は、「トラック」で区切られています。

タイトル：DVD ビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。
チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。
トラック：音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」「チャプター番号」「トラック番号」といいます。
ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。

ディスクの取扱いについて

●再生面には手を触れないでください。

●ディスクに紙やシールを貼らないでください。

●ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。

●よごれがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

●シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、帯電防止剤などは絶対に使用しないでください。
ディスクを傷める原因となります。

ディスクの保管について

●直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
●浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
●ディスクは必ず専用のケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形や破損の原因となります。

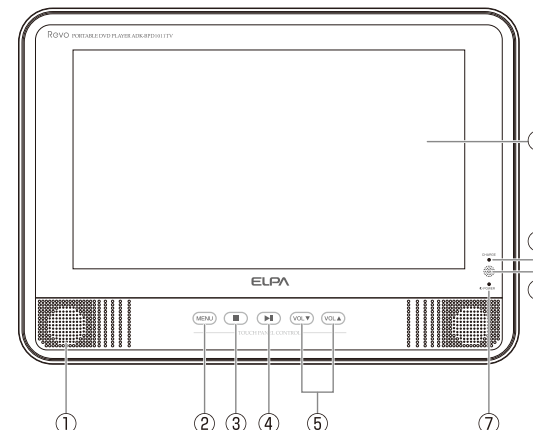
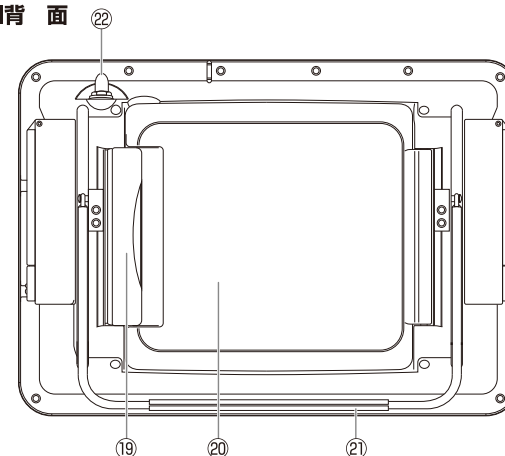
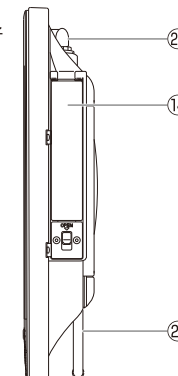
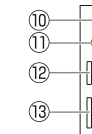
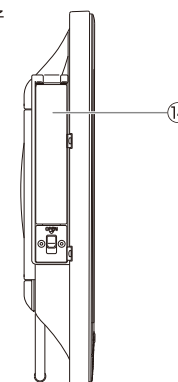
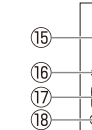
各部の名称

本　体

■全面パネル部　　**■右側面**

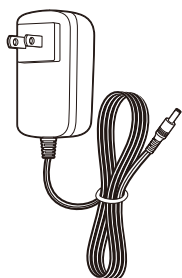
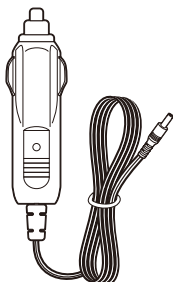
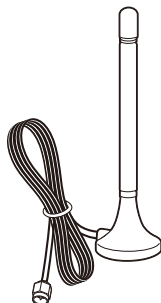
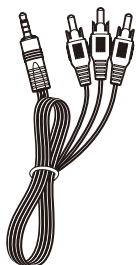
■背　面　　**■左側面**

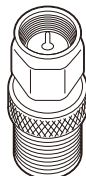
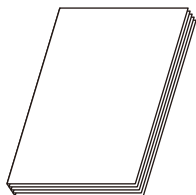
左側面
外部接続端子
カバー内

⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱

①スピーカー
②メニュー
③停止
④再生／一時停止
⑤音量ボタン
⑥リモコン受光部
⑦電源ランプ
⑧充電ランプ
⑨液晶モニター
⑩AV出力端子
⑪イヤホン端子
⑫MICRO SD カードスロット
※本機をアップデートする際に使用します。
　通常は使用しません。
⑬mini B-CASカードスロット
⑭外部接続端子カバー
⑮SD/SDHCカードスロット
⑯AV入力端子
⑰電源スイッチ
⑱電源端子（DC IN）
⑲ディスクカバーロック
⑳ディスクカバー
㉑スタンド
㉒アンテナ端子

各部の名称（つづき）

付属品

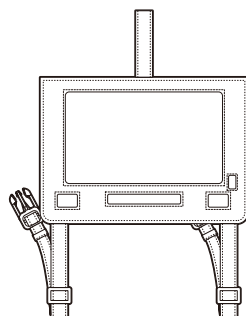
ご使用前に全て揃っていることをお確かめください。

●ACアダプター

●車用シガーアダプター

●マグネットアンテナ

●AVケーブル

●ミニB-CASカード

●F型接栓アダプタ

●取扱説明書・保証書（本書）

●アンテナ取付用
六角レンチ

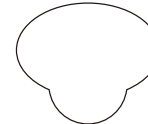
●車用ヘッドレストカバー

各部の名称（つづき）

付属品

●リモコン

●電池フタ用
オープナー

●コイン電池
CR2025 1個

※付属のリモコン用電池はテスト用です。早めに新品と交換してください。（電池はCR2025（3V）のコイン電池を1個使用します）

①電源ボタン
本機の電源を入/切します。

②機能切替ボタン
ディスクの再生画面、AV入力とテレビ放送受信の切替を行います。

③DVD/SDボタン
ディスクとSDカードの切替を行います。

④クリアボタン
プログラム設定時に使用します。

⑤オートサーチボタン
テレビ放送を視聴中に押すとチャンネルスキャンを行います。

⑥表示ボタン
ディスクの再生中に押すと、経過時間やチャプター等の情報を表示します。

⑦時間ボタン
ディスク再生中にチャプターや時間を入力すると指定の箇所を再生します。

⑧画面切替ボタン
画面サイズを16:9と4:3に切り替えます。

⑨音量+ーボタン
音量+を押すと音量が大に、音量ーを押すと音量が小になります。

⑩リピートボタン
ディスクの再生中、チャプターやタイトルごとに繰り返し再生します。

⑪消音ボタン
テレビ視聴中、ディスクの再生中に押すと音声を消します。

⑫停止ボタン
DVD再生中に押すと再生を仮停止します。二回押すと完全停止します。

⑬再生/一時停止ボタン
再生や一時停止を行います。

⑭スローボタン
ディスクの再生中、スロー再生します。

⑮コマ送りボタン
ディスクの再生中、コマ送りを行います。

⑯ズームボタン
再生中に押すと画面の倍率が変化します。

⑰アングルボタン
ディスクの再生中、映像のアングルを切替えます。（マルチアングルディスクの場合のみ）

⑱数字ボタン
チャンネルの入力や場面、曲の番号を直接入力する場合に使用します。

⑲設定ボタン
メディア再生中に押すと設定画面を表示します。二度押すとディスク･SDカードの切替画面が表示されます。

⑳メニューボタン
テレビ再生中に押すと各種設定画面を表示します。DVD再生中に押すとメニュー画面に戻ります。

㉑番組表ボタン
番組表を表示します。

㉒決定ボタン
各種設定や選択を決定します。

㉓方向ボタン
メニュー項目の選択に使用します。

㉔戻るボタン
ひとつ前の画面に戻ります。

㉕早送り/早戻しボタン
ディスクの再生中、早送り/早戻し再生を行います。

㉖スキップ送り/スキップ戻しボタン
ディスクの再生中に押すと、次もしくは前のチャプターを再生します。

㉗字幕ボタン
字幕を切替える時に使用します。

㉘音声ボタン
音声を切替える時に使用します。

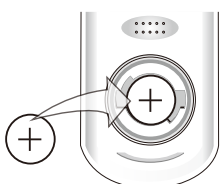
リモコンの使い方

リモコン電池の交換方法

CR2025（3V）のコイン電池１個を使用します。

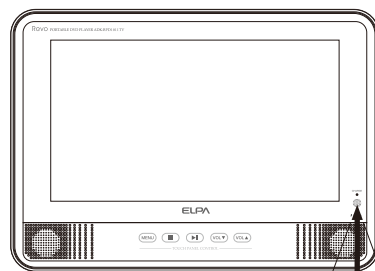
①リモコン裏面の電池ホルダーのフタをコインで「OPEN」方向に回します。

②電池ホルダーのフタを外します。

③電池ホルダーに電池をセットします。（プラス極が見えるようにセットします）

④電池ホルダーのフタを押さえながら、コインで「CLOSE」方向に回して閉めます。

※付属のリモコン電池はテスト用ですので、早めに新品と交換してください。

※防水パッキンを無理に外そうとしたり衝撃を与えないでください。
パッキンが外れた状態で使用すると防水にはなりません。

使用方法

リモコン使用時はリモコン赤外線発射口を機器フロントパネルのリモコン受光部へ向けてください。
受信角度は±20°、距離は4メートル以内です。

※フロントパネルのリモコン受光部に太陽光や強い光をあてないでください。正常に動作しない場合があります。

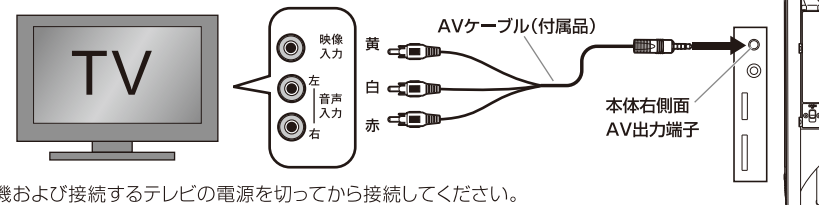
注意事項

※リモコンを落とさないでください。
※使用中にリモコンが効かない現象が生じた時は、電池の交換を行ってください。
※電池が切れたらすぐに交換してください。そのまま放置すると液漏れの危険性があります。
※液漏れした場合は、液に触れないように注意して、廃棄してください。

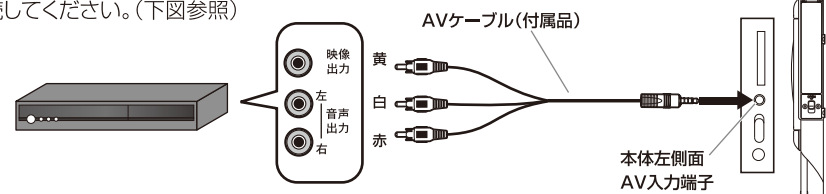
外部機器との接続

※外部接続端子カバーを開いて外部機器と接続している状態では、防水にはなりません。

テレビとの接続

本機で再生した映像を、外部のテレビ画面で視聴することができます。本体右側のAV出力端子とテレビの入力端子をAVケーブルで接続してください。（下図参照）
外部機器と接続した場合、その機器の音声は本機の音声に依存します。本機の音量を大きくすると外部機器の音量も大きくなり、小さくすると小さくなる為ご注意ください。
テレビ側の設定に関しては、お使いのテレビの取扱説明書をご参照ください。

※本機および接続するテレビの電源を切ってから接続してください。
※本機を消音にすると外部機器で音声を聴くことはできません。
※AVケーブルを接続しても本機のスピーカーからは音声が出ますので気になる場合はイヤホン端子にイヤホンを接続し、スピーカーからの音声を消してください。

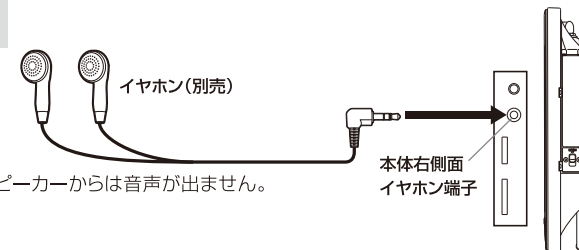
レコーダーとの接続

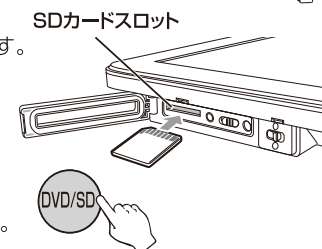
外部の機器からの映像を本機で再生することができます。
本体左側のAV入力端子と機器の出力端子をAVケーブルで接続してください。（下図参照）

イヤホンで音声を聴く

イヤホンで音声を聴く際は、本体右側のイヤホン端子にイヤホンを接続してください。（右図参照）

イヤホン（別売）

本体右側面
イヤホン端子

※イヤホンを接続すると本体のスピーカーからは音声が出ません。

SDカードの接続

SDカードを、本体左側面のSDカードスロットに挿入します。
※ SDカードを挿入した後は必ずカバーを完全に閉めてください。

■ディスク、SDカードの切替

リモコンのDVD/SDボタンを押すごとに切替わります。

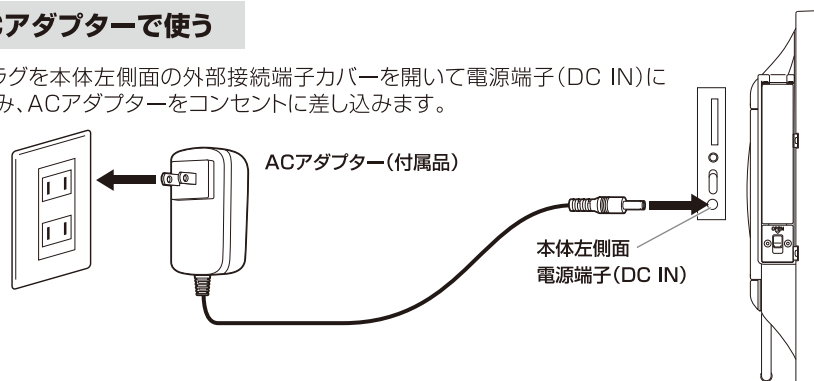
※再生中でもディスク、SDカードの切替えは可能です。

DVD/SD

電源について

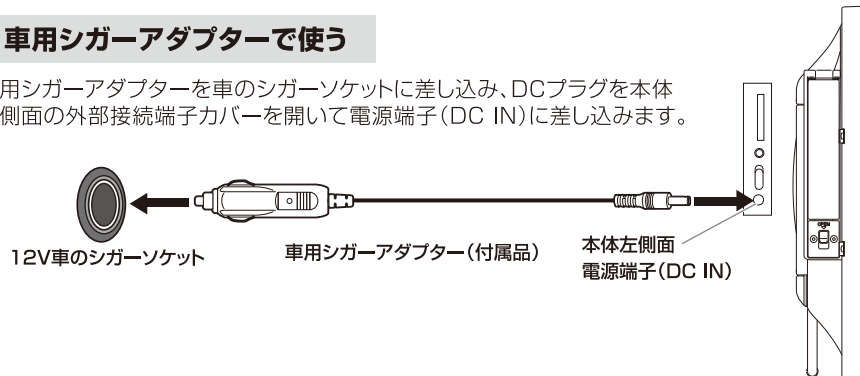
本機は内蔵バッテリー以外に、付属のACアダプターと車用シガーアダプターを電源として使用できます。

ACアダプターで使う

DCプラグを本体左側面の外部接続端子カバーを開いて電源端子（DC IN）に差し込み、ACアダプターをコンセントに差し込みます。

注意事項

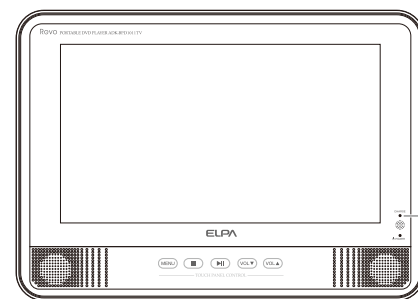
※付属品以外のACアダプターを使用しないでください。故障の原因となります。
※外部接続端子カバーを開いて電源を接続している状態では、防水にはなりません。
※ACアダプターを抜き差しする前に、必ず本機の電源スイッチをオフにしてください。

車用シガーアダプターで使う

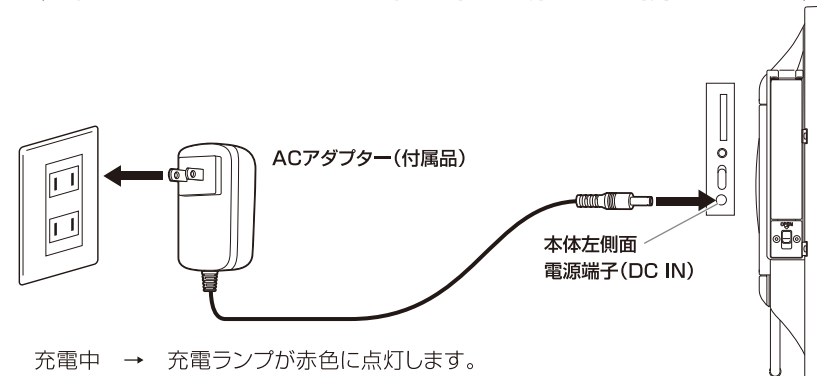
車用シガーアダプターを車のシガーソケットに差し込み、DCプラグを本体左側面の外部接続端子カバーを開いて電源端子（DC IN）に差し込みます。

注意事項

※付属品以外のシガーアダプターを使用しないでください。故障の原因になります。
※外部接続端子カバーを開いて電源を接続している状態では、防水にはなりません。
※車用シガーアダプターは〔12V〕車でのみお使いいただけます。その他の車では絶対に使用しないでください。
※車のエンジンをかける前に接続するのはおやめください。故障の原因になります。
※車用シガーアダプターを抜き差しする前に、必ず本機の電源スイッチをオフにしてください。

内蔵バッテリーについて

本機にはリチウムイオン充電池が内蔵されており、充電済みであれば電源がない場所でも使用することができます。電源オフ時に空の状態から充電を開始した場合、約5時間でフル充電になり、テレビ放送視聴時約3時間30分、DVD再生時約3時間30分ご使用することができます。（音量を最大にする等、条件によっては上記時間より短くなることがあります。また電源がオンになっている状態で充電しますと、満充電まで上記時間よりも長くかかります。）

次のようなときは必ず充電してください。
●ご購入後、初めてお使いになるとき
●長期間使わないで放置したとき
●バッテリー残量が少なくなったとき

バッテリーを充電する

電源スイッチをオフにした状態で、付属のACアダプターを本体左側の電源端子とコンセントに接続します。（電源スイッチがオンになっていると電源オフ時よりも満充電まで時間がかかります。）

充電中　→　充電ランプが赤色に点灯します。
充電完了　→　充電ランプが緑色の点灯に変わります。

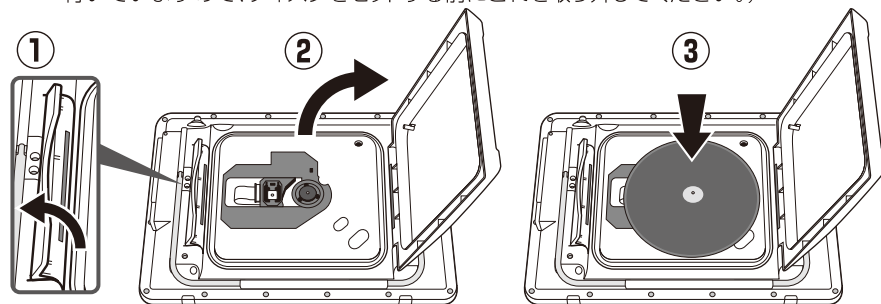
注意事項

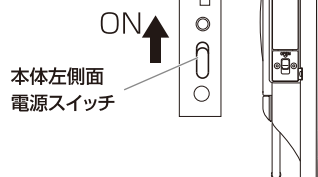
※充電が完了したら、速やかにACアダプターのプラグをコンセントから外してください。過度の充電は故障や事故の原因となりますので、ご注意ください。
※電源スイッチがオフになっていることを確認してください。
※ACアダプターは必ず付属のものをお使いください。

DVDを再生する

DVDの基本操作

1 ディスクを入れる

本体背面のディスクカバーロックを外してディスクカバーを開け、ディスクをセットし、ディスクカバーを閉じ、ロックします。（出荷時はディスクトレーに紙製の保護シートが付いていますので、ディスクをセットする前にこれを取り外してください。）

2 電源を入れる

本体左側面の外部接続端子カバーを開いて電源スイッチを「ON」にします。

3 再生の開始

カバーを閉じるとDVDのタイトル画面が表示されますので、リモコンの決定ボタンを押してください。再生が始まります。（ディスクによってはカバーを閉じると自動的に再生が始まります。）

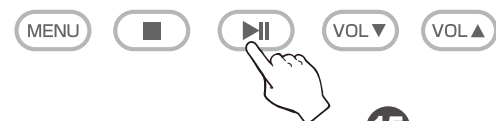
※テレビ視聴中はDVDの自動再生はされません。

■リモコン操作

決定

4 一時停止

再生中に ▶/❚❚ ボタンを押すと再生を一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。

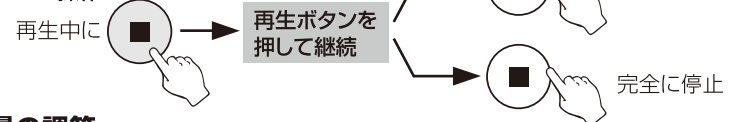
■本体前面操作

■リモコン操作

DVDを再生する（つづき）

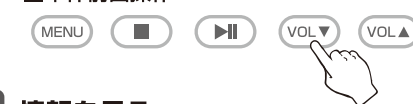
DVDの基本操作

5 停止

再生中に ■ 停止ボタンを押すと再生停止し、画面に 再生ボタンを押して継続 と表示されます。この状態で▶/❚❚ボタンを押すと、停止した場面の続きから再生が始まり、もう一度 ■ 停止ボタンを押すと、完全に再生が停止されます。

■リモコン操作

6 音量の調節

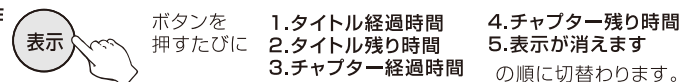
再生中、音量＋ボタンを押すと音量が大きくなり、音量－ボタンを押すと音量が小さくなります。

■本体前面操作

■リモコン操作

7 情報を見る

再生中にリモコンの表示ボタンを押すと、画面上に再生中のタイトル、チャプターの経過時間や残り時間など、現在再生中のディスクの情報が表示されます。

■リモコン操作

ボタンを押すたびに
1.タイトル経過時間
2.タイトル残り時間
3.チャプター経過時間
4.チャプター残り時間
5.表示が消えます
の順に切替わります。

8 場面（チャプター）のスキップ

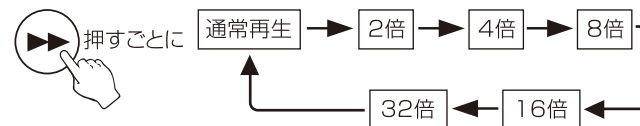
再生中に ▶▶❚ または ❚◀◀スキップボタンを押すと1つ次または前のチャプターに移動します。

■リモコン操作

9 早送り・早戻し

再生中に ▶▶ 早送りまたは ◀◀ 早戻しボタンを押すと、早送りまたは早戻し再生をすることができます。再生速度はボタンを押すごとに変わります。

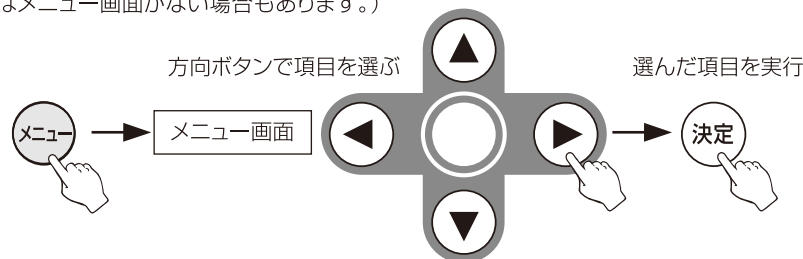
※本体の▶▶❚ボタンまたは❚◀◀ボタンの長押しでも同様の操作ができます。

■リモコン操作

※早戻しボタンも同様です。

DVDの色々な操作

■全てリモコンでの操作となります。

1 場面（メニュー）を選択して再生

リモコンのメニューボタンを押すと各メニュー画面に入り、DVDの内容が画面に表示され、再生するチャプターや字幕などを簡単に選択することができます。（ディスクによってはメニュー画面がない場合もあります。）

2 アングルの切替

再生中にリモコンのアングルボタンを押すと映像のアングルを切替えることができます。ボタンを押す回数によってディスクに記録された異なるアングルの映像に切替わります。切替可能なアングルの数と、再生しているアングルの番号が画面に表示されます。

※アングル切替えは、マルチアングルで録画されたDVDのみで使用可能です。マルチアングルのディスクかどうかはDVDディスクのジャケットやケースカバーをご覧ください。

3 音声切替

再生中にリモコンの音声ボタンを押すと、音声を切替えることができます。音声ボタンを押すたびに、音声の言語が切替ります。切替可能な音声の数と再生している音声の番号が画面に表示されます。

※音声が1つしか記録されていないディスクでは、音声を切替えることはできません。
※ディスクによっては、DVDのタイトル画面から音声切替を行わなければならないものもあります。
※本機はdts形式の音声ファイルは再生できません。

4 字幕切替

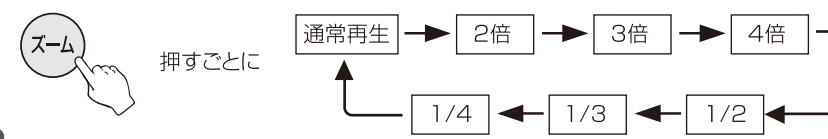
再生中にリモコンの字幕ボタンを押すと、字幕を切替えることができます。字幕ボタンを押すたびに、字幕の言語が切替わります。切替可能な字幕の数と再生している字幕の番号が画面に表示されます。

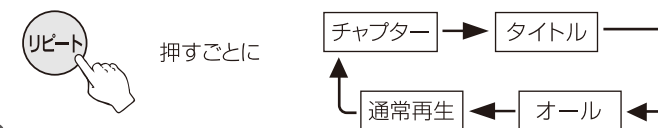
※ディスクによっては、DVDのタイトル画面から字幕切替を行わなければならないものもあります。
※字幕データが収録されていないディスクでは、この機能は使えません。

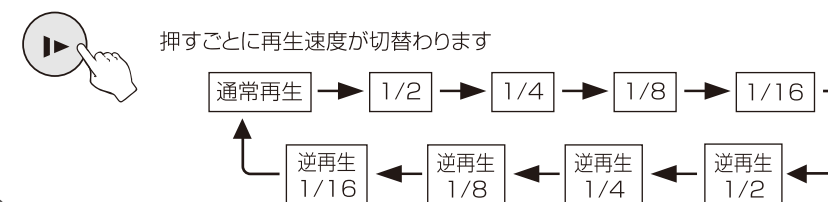
DVDの色々な操作

■全てリモコンでの操作となります。

5 ズーム切替

再生中にリモコンのズームボタンを押すと、画面の表示倍率を変えることができます。ズームボタンを押すたびに、画面の倍率が変わります。
拡大表示中に上下左右の方向ボタンを押すと、画像を動かして表示範囲外になっている部分を見ることができます。

6 リピート再生

再生中にリモコンのリピートボタンを押すと、現在のリピート情報を表示します。（工場出荷時はオフ）リピート表示中にリピートボタンを押すと、リピート機能が切替わります。

7 スロー再生

再生中にリモコンのスローボタンを押すと、スロー再生を行うことができます。

8 消音

再生中にリモコンの消音ボタンを押すと、音声のみを消すことができます。
もう一度消音ボタンを押すと再び音声が出ます。

9 コマ送り

ディスクの再生中、ボタンを押すごとにコマ送りを行います。

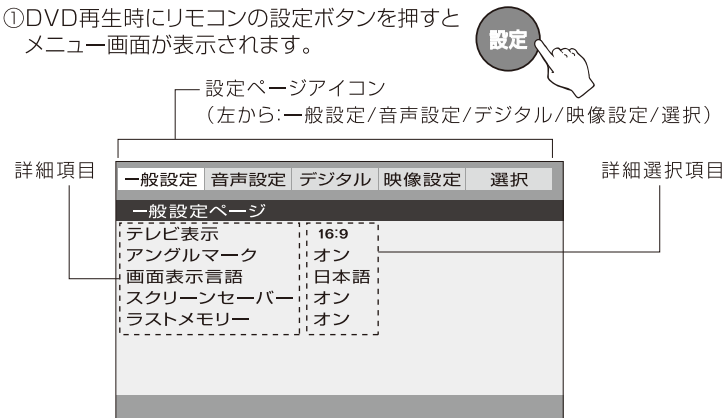
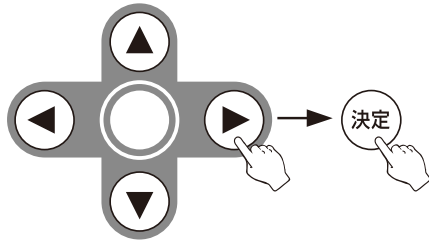
10 時間

ディスク再生中にチャプターや時間を入力すると指定の箇所を再生します。

機能設定（DVDのみ）

本機ではDVD画質や音声など、各種項目を必要に応じて設定できます。

機能設定の方法

①DVD再生時にリモコンの設定ボタンを押すと
　メニュー画面が表示されます。

②リモコンの方向ボタンで設定変更したい項目を選択し、決定ボタンを押します。
　設定ページ→詳細項目→詳細選択項目の順に選択、決定していきます。

③設定を終了するには、詳細項目の一番下の「設定終了」を選択し決定ボタンを押します。
　※終了せずに設定ボタンを押すと、メディアの切替画面に切替わります。
④再度設定をしなおすには設定終了後、再度設定ボタンを押すとメディアの切替画面になり、
　そのまま約5秒放置すると元の画面に戻りますので、その後再度設定ボタンを押すと設定
　画面になります。

設定項目

設定項目は下記の通りです。

設定ページ	一般設定	音声設定	デジタル	映像設定	選択
詳細項目	テレビ表示 アングルマーク 画面表示言語 スクリーンセーバー ラストメモリー	ダウンミックス	デュアルモノ ダイナミック	シャープネス 明るさ コントラスト 彩度 色相	音声言語 字幕言語 メニュー言語 視聴制限 パスワード変更 設定リセット

機能設定（DVDのみ）（つづき）

設定項目

音声設定

■ダウンミックス
- LT/RT
- ステレオ

デジタル

映像設定（画面設定です）

- ■シャープネス ── 高･中･低（低いほど画像の輪郭が柔らかくなり、高いほど強調される）
- ■明るさ ── -16～+16（低いほど暗くなり、高いほど明るくなる）
- ■コントラスト ── -16～+16（低いほど色が滑らかになり、高いほど色の境目が強調される）
- ■彩度 ── -9～+9（低いほど色がくすみ、高いほど鮮やかになる）
- ■色相 ── -9～+9

機能設定（DVDのみ）（つづき）

設定項目

選択 ※DVD再生中は設定できません。設定はDVDを停止して行ってください。

視聴制限のレベル設定です。設定したレベル以上のディスクを見る場合、暗証番号の入力が必要となります。以下の「パスワード」による暗証番号を入力し、キーマークが開いた状態で設定することができます。
ディスクによってはこの機能に対応していないものもあります。
※本機は海外での販売も行っており、レーティング設定は海外のディスクを対象とした設定の為、日本製もしくは日本向けのディスクではレーティング（視聴制限）を行うことはできません。

■パスワード変更
視聴制限を超えるディスクを見るときに必要になる暗証番号を設定します。暗証番号は4桁の数字です。設定するには、キーのマークが開いた状態で入力欄に任意の4桁の数字を入力して決定ボタンを押します。するとキーが施錠され、その数字が暗証番号になります。
初期設定の暗証番号は「1111」です。

■設定リセット

CDを聴く

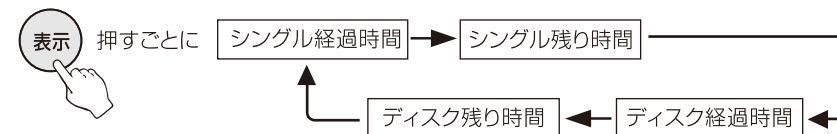
CDの再生

本機では音楽CDを再生することもできます。音楽CDをセットしてディスクカバーを閉じると、自動的に再生を開始します。音楽CDの再生ではDVDの再生と同じボタン操作で同様に以下の操作を行うことができます。
※テレビ視聴中はCDの自動再生はされません。

CD再生時の画面表示

音楽CDの再生中は、トラック（収録曲）の再生時間等の情報が画面に表示されます。

表示ボタンを押すごとに表示内容が切替わります。

■リモコン操作

●リモコンの数字ボタンを押して再生したいトラックを直接選択することも可能です。

※自作のCDは再生できない場合もあります。
※ディスクカバーが開いている状態では再生されません。

MP3を聴く

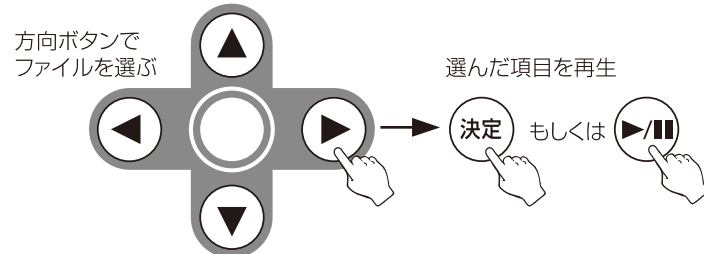
MP3の再生

本機ではMP3形式のファイルが保存されたメディアを再生することができます。

MP3形式のファイルが保存されたメディアをセットすると、下記の画面が表示されます（本機に対応した形式で記録されたメディアのみ使用可能です）。この画面でメディア上のフォルダやファイルを選択し、再生する曲を決定します。

※表示は英数字のみに対応しています。日本語データ等は正しく表示されません。

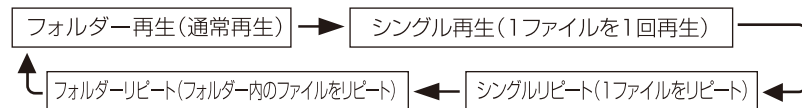
1 操作方法

①リモコンの方向ボタンを押して黄色のハイライトを移動させ、再生したいファイルを選択します。決定ボタンを押すと選択したファイルが再生されます。

②再生中に|◀◀または▶▶|ボタンを押して前後のファイルを再生することもできます。

■リモコン操作

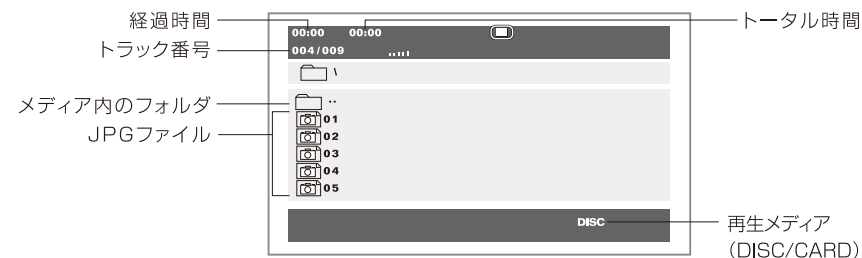
MP3の再生ではDVD、CDの再生と同じボタン操作で同様に以下の操作を行うことができます。

●再生　●停止　●一時停止　●前後スキップ　●早送り　●早戻し ●リピート再生　●消音　●音量+−

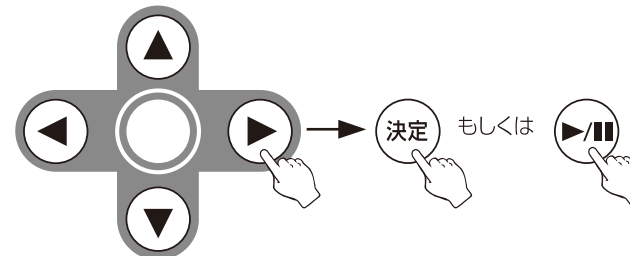
※リピート再生の設定内容は以下のように切替わります。

JPEG画像を見る

JPEGの再生

本機ではJPEG形式の画像ファイルが保存されたメディアを再生することができます。

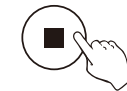
JPEG形式のファイルが保存されたメディアをセットすると、自動的に下記の画面が表示されます（本機に対応した形式で記録されたメディアのみ使用可能です）。この画面でメディア上のフォルダやファイルを選択し、表示するファイルを決定します。

※表示は英数字のみに対応しています。日本語データ等は正しく表示されません。

1 操作方法

①リモコンの方向ボタンを押して黄色のハイライトを移動させると、右側にサムネール（小さい画像）が表示されます。再生したいファイルを選択すると画像が表示され、自動的にファルダ内の画像を再生していきます。

②|◀◀または▶▶|ボタンを押して前後の画像を表示することもできます。

■リモコン操作

③ひとつの画像を表示し続けるには再生/一時停止ボタンを押します。
もう一度再生する際も再生/一時停止ボタンを押します。

④停止ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

JPEG画像を見る（つづき）

JPEGの再生

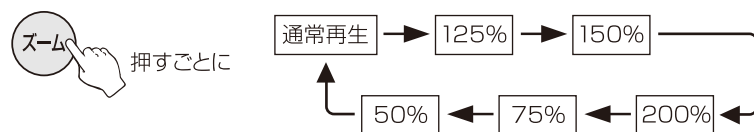
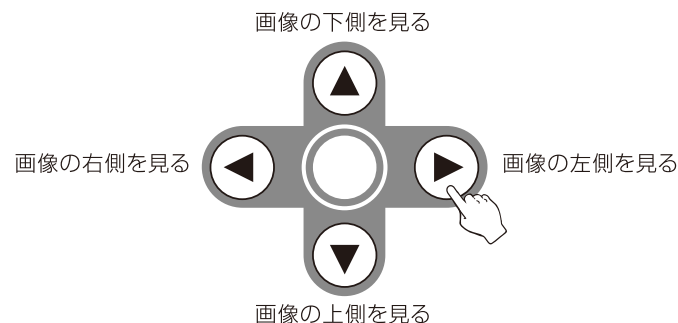
2 画像の回転

リモコンの左右の方向ボタン◀ ▶を押すと画像が回転します。

3 画像の反転

リモコンの上下の方向ボタン▲▼を押すと画像が反転します。

4 画像のズーム（拡大・縮小表示）

リモコンのズームボタンで画像を拡大･縮小表示できます。

拡大表示中にのみ上下左右の方向ボタンを押すと、画像を動かして表示範囲外になっている部分を見ることができます。
画像が動く設定となっておりますので、方向ボタンを押すとそれぞれ下記の動作を行います。

メディア／ファイルについて

写真・音楽の再生について

●写真再生は、JPEG形式のファイルで拡張子「.jpg」が付加されているファイルを再生できます。他の画像形式のファイルや「.bmp」、「.tif」などの異なる拡張子が付いたファイルは再生できません。
※JPEGとは、静止画像のデジタルデータを圧縮する方式のひとつで、JPEGファイルは「.jpg」という拡張子が付いた画像ファイルのことを言います。

●画像ファイルサイズ又はファイル構造により、ディスプレイに表示されるまで時間がかかることがあります。

●デジタル著作権管理（DRM）されたファイルは再生できません。
※DRMとは、デジタルデータとして表現されたコンテンツの著作権を保護し、その利用や複製を制御･制限する技術の総称を言います。音声･映像ファイルにかけられる複製の制限技術などが有名ですが、広義には画像ファイルの電子透かしなどもDRMに含まれます。

●MP3/WMA（DRM非対応)形式のファイルをポータブルオーディオプレーヤー等で使用する専用ソフトを使いパソコンからSDカードに転送した場合、そのSDカードは本機では再生できません。

●MP3/WMA形式ファイルは、記録された順序で再生できないことがあります。また、記録状況により音飛びが発生したり、再生できないこともあります。

●データ名、ファイル名の表示は英数字のみに対応しています。日本語データ等は正しく表示されません。

SDカードについて

国産品･国内メーカー品をお薦めします。

●すべてのSDカードについての動作保証はしていません。

●容量16GBを超えるSDカードは動作保証していません。

●SDカードは、記録された順序で再生できないことがあります。また、記録状況により音飛びが発生したり、再生できないこともあります。

●機器との相性により、一部のパソコンで編集されたSDカードを再生できないこともあります。

テレビ放送を視聴する

本機で視聴できるテレビ放送

本機では、地上デジタル放送とワンセグ放送を受信することができます。（地上アナログ放送、BS･110度CSデジタル放送を受信することはできません。）
屋内でお使いになるときは、各部屋にあるアンテナ線を本機に接続して高画質の地上デジタル放送を、外出先ではワンセグ放送をと、お好きな場所で放送を受信してテレビ番組が楽しめます。

地上デジタル放送に関して

地上波のUHF放送（13ch～62ch）の周波数帯域を使った放送です。
最新のデジタル技術を活用することで、高画質（ハイビジョン放送）･多チャンネルのテレビ放送が可能です。
また、音声信号を効率よく圧縮して放送することができ、原音に近い高音質な音声が楽しめます。

お知らせ

- 地上デジタル放送を受信するには、本機の他に地上デジタル放送の受信に対応したUHFアンテナが必要です。
- CATV（ケーブルテレビ）の受信には、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。
  接続やご利用方法については機器や会社ごとに異なります。ご加入しているCATV会社にお問い合わせください。
- 本機は地上デジタル放送の双方向通信サービスには対応していません。
- 本機は地上デジタル放送のデータ放送サービスには対応していません。
- 放送によっては、画面の上下左右に黒い帯が表示されます。

ワンセグ放送に関して

ワンセグ放送とは、地上デジタル放送の電波の13セグメントのうちの一つのセグメントを使った携帯機器向けの放送です。低消費電力、簡易な情報処理といった特徴があります。
※デジタル放送では受信状態が悪くなると音声が途切れたり、画像が止まったり、またはブロックノイズが出たりすることがあります。
※移動中に受信するときは、静止中の受信に比べ、受信エリアが狭くなり、場所や位置により受信しにくくなることがあります。

テレビ放送を視聴する（つづき）

miniB-CASカードを入れる

本機に同梱されているminiB-CASカードは地上デジタル放送の受信や「放送局からのお知らせ」の受信などに必要です。
miniB-CASカードは常時、本機に挿入しておいてください。
miniB-CASカードの登録のしかたや取扱いについて詳しくは、カードが貼ってある説明書をご覧ください。説明書はよくお読みのうえ、大切に保管してください。

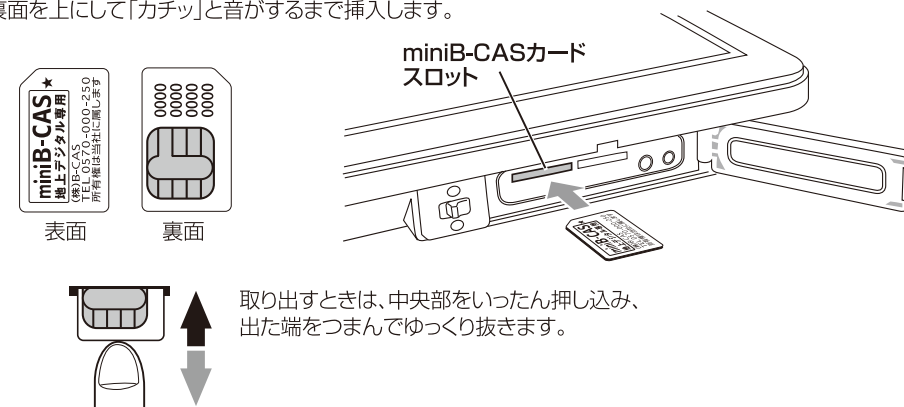
注意事項

- 本機に同梱されているminiB-CASカード以外入れないでください。破損や故障の原因となります。
- 使用中にminiB-CASカードを抜き差ししないでください。
- miniB-CASカードのカードの破損、紛失、盗難などの場合、および本機の廃棄などでカードが不要になった場合や登録名義を変更する場合のお問い合わせ先については、カードが貼ってある説明書をご覧ください。

本機の電源が切れていることを確認し、miniB-CASカードの裏面を上にして「カチッ」と音がするまで挿入します。

miniB-CASカード
スロット

表面　裏面

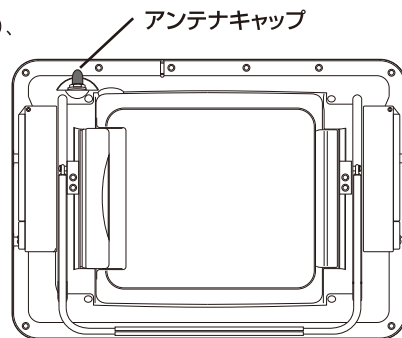
取り出すときは、中央部をいったん押し込み、出た端をつまんでゆっくり抜きます。

※miniB-CASカードを挿入した後は、必ずカバーを完全に閉めてください。

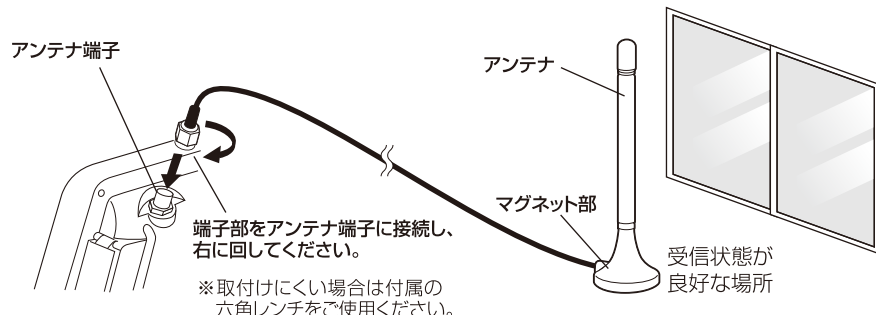
テレビ放送を視聴する（つづき）

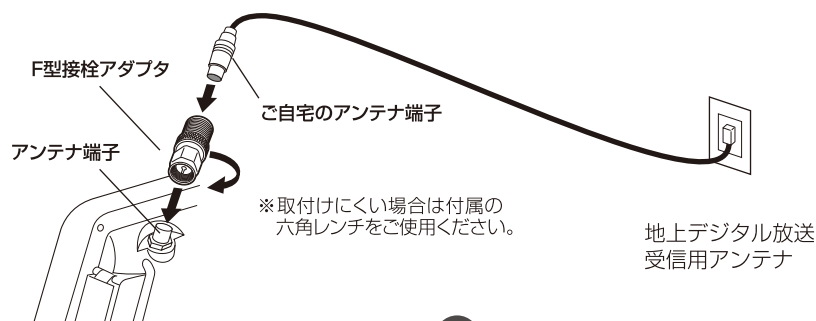
アンテナの準備

1 アンテナの接続・設置

テレビ放送を受信する際はマグネットアンテナ（付属）、ご自宅のアンテナのいずれかを取り付けてください。

※出荷時はアンテナキャップを取り付けているため、必ず外してから取り付けてください。
※アンテナを接続しないで本機をご利用の場合は、アンテナ接続端子にアンテナキャップを必ず装着してください。水やホコリの入り込みによる故障の原因になります。

■マグネットアンテナの接続・設置

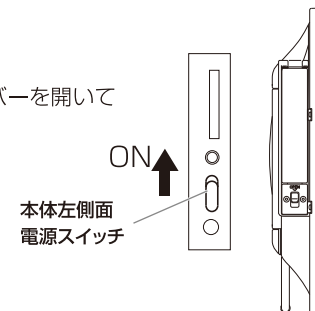
プレーヤー本体裏面上部のアンテナ端子に、マグネットアンテナ(付属品)の端子部を接続してください。アンテナ側を窓の近くなど受信状態が良好な場所に設置してください。

■ご自宅のアンテナの接続

プレーヤー本体裏面上部のアンテナ端子に、F型接栓アダプタ(付属品)を接続してから、ご自宅のアンテナ端子を接続してください。

テレビ放送を視聴する（つづき）

テレビ放送の視聴準備

2 電源を入れる

本体左側面の外部接続端子カバーを開いて電源スイッチを「ON」にします。

ON
本体左側面
電源スイッチ

3 ワンセグテレビ画面への切替え

リモコンの機能切替ボタンでテレビの画面に切替えてください。テレビの画面になると、青いモニターになり右上にTVと表示されます。（表示されるまで3～5秒かかります）

機能切替ボタンを押すたびに
DVD→テレビ の順で循環して画面が変わります。

※テレビの切替えには3～5秒程かかります。切替中はモニターがまっ黒になりますが、故障ではありません。

※電波の弱い場合は「電波の弱いエリアです」と表示されますのでアンテナを受信状態の良好な場所に設置してください。

※以下の操作はテレビ画面表示時の操作となります。

4 チャンネル検索

初めて使用する時や、受信できる放送局（電波地域）が変更になった時は、チャンネル検索を実行して本機へ受信できるチャンネルを登録する必要があります。

①リモコンのオートサーチボタンを押すとチャンネルスキャンが開始され、現時点で受信できる放送局が登録されます。

②チャンネルスキャンが終わると放送が表示されます。
※チャンネルスキャンを行いますと、今までに登録していた放送局は上書きされて消えてしまいますのでご注意ください。

テレビ放送の操作

1 チャンネルの変更

放送中、リモコンの上下の方向ボタン▲▼または数字ボタンを押すと、チャンネルが変更されます。

2 音量の調節

テレビ放送の音量は、放送中に音量+ーボタンで調節してください。

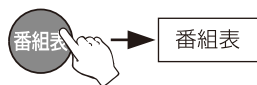
3 チャンネルリスト（放送局を表示）

①リモコンの表示ボタンを押すとチャンネルリストが開きます。

②チャンネルリスト表示中に左右の方向ボタン◀▶でワンセグ/フルセグの切替ができます。

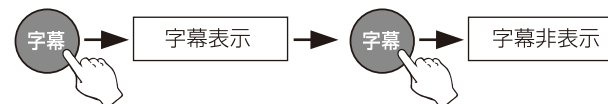
③チャンネルリスト表示中に上下の方向ボタン▲▼で見たいチャンネルを選び、決定ボタンで番組を表示できます。

4 番組表

①リモコンの番組表ボタンを押すと番組表が開きます。

②現在選択されている放送局の番組表が表示されますので、上下の方向ボタン▲▼で番組を選択し、決定ボタンを押すと、番組の情報が表示されます。
※番組情報が登録されていない場合は、番組情報は表示されません。

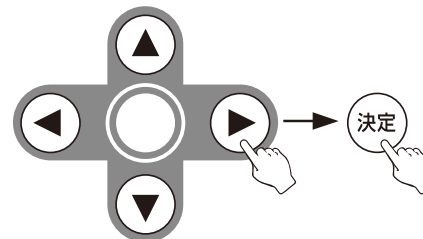
テレビ放送の操作

5 字幕放送

①リモコンの字幕ボタンを押しと、字幕の表示（オン）、非表示（オフ）を選択できます。

※ご覧の番組に字幕情報がない場合は、オンを選択しても字幕は表示されません。

テレビ放送の設定

①テレビ視聴時にリモコンの設定ボタンを押すと設定メニューが表示されます。

②リモコンの方向ボタンで設定変更したい項目を選択し、決定ボタンを押します。
設定メニュー→詳細項目→詳細選択項目の順に選択、決定していきます。

③設定を終了するには、リモコンの戻るボタンを押します。

設定項目

■受信方法設定（フルセグ･ワンセグ）
- 自動…電波状況に応じてフルセグ･ワンセグを切替えます。
- フルセグ優先…地上デジタル放送のみ受信をします。
- ワンセグ優先…ワンセグ放送のみ受信をします。

■フルスキャン …チャンネルサーチを実行します。

■言語（設定画面）…設定画面の表示言語を変更できます。
- 日本語
- 英語

テレビ放送を視聴する（つづき）

設定項目（続き）

■PG設定 …子供に見せたくない番組を制限する機能。
ただし、この機能を備えた放送のみ有効です
- PG-
- PG4-PG18

末尾の数字は制限年齢を表します。

■パスワード設定 …PG設定や工場初期化に必要なパスワードを変更します。
パスワードの初期設定は「111111」です。

■デバイス情報 …B-CASカード、地上デジタル放送用チューナーの情報が表示されます。

■工場初期化 …工場出荷時の設定に戻ります。

注意事項（ご確認ください）

「映像が止まる」「音声が出ない」「音声が途切れる」等の受信が安定しない場合がございます。その場合は下記事項をご確認下さい。

電波をさえぎる物の近くでご利用ではないですか?
リモコンの表示ボタンを押して、電波受信状況（アンテナマーク）のレベル（最大4本）が安定する場所に移動して下さい。または、チャンネル検索を、再度お試し下さい。
（一度受信した放送が長時間安定する保証はございません）

※建物、地下、トンネル、移動中の乗り物内、電波塔の無い地域、地形、強力な電波を発信する施設の近辺、電波障害を受けやすい場所、等の受信に影響が出やすい場所では、受信できない場合があります。
※アンテナが正しく接続されていない場合。
※その他の症状が見られる場合は、本書34ページ~のトラブルシューティングをご参照下さい。

トラブルシューティング

まず下表でご確認ください。修理に出す前にもう一度、取扱説明書をお読みになってください。

故障状況	原因および解決方法
電源が入らない	●ACアダプターが抜けている ⇒ACアダプターをコンセントへ差し込む
	●充電がされていない ⇒充電をする
	●各種コードが正しく接続されていない。 ⇒接続を確認する
充電できない	●電源スイッチがオンになっている ⇒ACアダプターを接続し、電源スイッチをオフにする
	●異なったACアダプターを接続している ⇒付属のACアダプターを接続する
充電しても再生時間が極端に短い	●バッテリーの寿命です。 ⇒交換して下さい（販売店かサポートセンター（P.44参照）へお問合わせ下さい）。
画面が黒い（青い）ままで、液晶画面に映像が映らない	●外部出力の設定になっている。 ⇒リモコンの機能切替ボタンを押す。
音声が出ない	●音量が最小になっている ⇒本体およびリモコンで音量を調整する
	●消音機能を使用している ⇒リモコンの消音ボタンで機能を解除する
	●「dts」形式の音声は本機では対応できません。 他の形式「ドルビー」等を選んで再生してください。
映像の映りが悪い	●映像設定の調整が正しくない ⇒映像の調整を正しく行う
画面に斑点が映る、画面に色の縞が出たり、色が消える	●高圧線や自動車、ネオン、電気製品からの電波障害が起きている。 ⇒電波の影響を受けない場所に本機を移動する
リモコン操作できない	●リモコンの電池が消耗している ⇒電池を交換する
	●電池の極性が逆になっている ⇒電池のプラスマイナスを正しく入れる

トラブルシューティング

まず下表でご確認ください。修理に出す前にもう一度、取扱説明書をお読みになってください。

故障状況	原因および解決方法
リモコン操作できない 「無効なキー」と表示される	●リモコン信号が本体受光部に当たっていない可能性がありますので、リモコンを正しく向けて下さい。 ●画面に「無効なキー」と表示される場合は、そのディスクでは操作できない操作をしている可能性があります。
DVDレコーダーで記録したDVD-Rディスクが再生できない	●ビデオモードまたはＣＰＲＭ形式で録画したDVD-Rディスクを本機で再生するには、ファイナライズ処理が必要です。 ●ディスク記録時の安定度・状況・環境により、再生できない場合があります。 ●録画されたDVDレコーダーとディスクと本機との相性により再生できない場合もあります。 ●パソコンにて録画されたディスク、DVDレコーダー以外の機器によって作成されたディスク、短い収録時間のディスクでは再生できない場合もあります。
ディスクの読み取りができない	●ディスクが入っているか確認してください。 ●ディスクが反対に入っていないか確認してください。 ●ディスクのフォーマットが違っていませんか? ●該当ディスクが損傷または汚れている可能性があるので、ディスクを換えるか、またはディスクをクリーニングしてください。
再生中に電源が落ちる	●2層式記録ディスク再生折返し部分の仕様による場合があります。電源が落ちたチャプターの次のチャプターから再生できる場合がありますので、チャプター選択画面から指定して再生を続けて下さい。
再生中、一時的に映像が止まる	●再生しているディスクにキズや汚れがある可能性があります。本書「お使いになる前に」記載のディスクの取扱いについてをご参照下さい。 ●充電不足時に頻繁に早送り等をされますと、稀にこのような症状が起こります。ACアダプターを接続しない場合は、充分充電してからご利用下さい。
ＣDが正しく再生されない ＣDの曲頭数秒が再生されない	●コピーコントロールCDの可能性がございます。本機では正しく再生されない可能性があります。
その他	●特典ディスク等の特殊な再生機能が施されているディスクにおいては、再生できない場合があります。また、再生できても、キー･コマンド･選択等ができない場合や、リモコンや本体のボタン等が反応しない場合もございます。

トラブルシューティング

まず下表でご確認ください。修理に出す前にもう一度、取扱説明書をお読みになってください。

故障状況	原因および解決方法
選曲できない	●ディスク･SDカードによっては、部分的に設定された再生順序を変更できないものがあります。
CD／CD-R／DVD／DVD-R MP3ディスク／ SDカード／ の 再生ができない、音が出ない、 雑音がある、音とびがする、 映像が正しく表示されない　等	●システム接続が正しいか確認してください。 ●ディスクにキズがついていませんか? ●本機非対応の仕様のデータである可能性がございます。本書「メディア／ファイルについて」をご参照下さい。 ●メーカー各種記録媒体との相性により、再生できない場合がございます。 お手数ですが記録媒体を変えてお試し下さい。 (国産･国内メーカー産をお薦め致します)
テレビ放送が 受信できない／ 受信できないチャンネルがある／ 音声が出ない／音声が途切れる／ 映像が止まる／ノイズが入る	●アンテナは正しく接続されていますか? ●周囲に電波がさえぎられるものはありませんか? 電波受信状況が安定する場所に移動して下さい。 ●本機ご利用の場所が、その地域が受信可能の放送局地域になっていますか?
視聴中の 映像／文字情報／ 番組内の時刻表示がズレる	●ワンセグ(デジタル放送)特有の現象です。 デジタルデータの受信形式のため、受信してから映像化されるまでの時差によって数秒ズレる場合がございます。
その他	●各種症状にて故障と思った場合は、一度、本機の電源スイッチをOFFにして放置したのち、再度電源を入れて各種解決方法をお試し下さい。

注意事項

液晶パネルについて

●液晶パネルは非常に高精度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。
この現象は液晶パネルの特性であり、修理･交換等の対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

ブロックノイズについて

●DVDプレーヤーの演算処理能力を超えるときにブロックノイズが発生する場合があります。
●ブロックノイズはDVDの映像記録方式（MPEG）の性質上、完全に除去することは非常に困難です。
●また、DVDディスクの記録面に傷や汚れがある場合、またはピックアップレンズが汚れている場合にもブロックノイズが発生します。ディスクやレンズの汚れは市販のディスククリーナーやレンズクリーナーを使用して対応していただけますようお願い致します。

コピーコントロールCDについて

●CCCD（コピーガード付きCD）は、CDの標準規格に合致しませんので、本機では再生できない可能性があります。
●CCCDの再生に支障がある場合はお手数ですが、ディスクの発売元にお問い合わせていただきますよう、お願いいたします。
●また、標準規格外のディスクを再生し、その結果故障や不具合が発生した場合は保証期間内でも有償修理になります。何卒ご了承ください。

防水について

●ディスク／外部接続端子カバーをしっかりと閉じた状態の本体は、IPX7（旧JIS防水保護等級7 防浸形）。付属品のリモコンは、IPX6（旧JIS防水保護等級6　耐水形）相当の防水性能を有しております。雨や水しぶきがかかる場所でも使用できる仕様となっておりますが、すべての状況での動作を保証するものではありません。故意に水中で使用したり、ディスク／外部接続端子カバーを開いた状態で水まわりで使用されると内部に水が浸入する恐れがあります。水の浸入による製品の故障については保証期間内でも保証対象外となります。
本取扱説明書の「安全上のご注意･防水について」を十分ご理解のうえ、本機をご利用ください。

免責について

●お客様または第三者が本製品の誤使用または使用中に生じた故障、またその他の不具合等を含め、本製品の使用によって受けられた損害については法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責を負いません。
●当社が関与しない各種機器との組み合わせによる誤作動から生じた損害に関しまして、当社は一切その責を負いません。
●本取扱説明書の記載を守らないことによる損害や事故に関しまして、当社は一切その責を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を廃棄するときのお願い

廃棄する時以外は絶対に分解しないでください。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

⚠危険

本機専用の充電式電池です。この機器以外に使用しないでください。
取り出した充電式電池は充電しないでください。

■充電池の取扱いについて

禁止
火の中に捨てたり加熱したりしないこと
液漏れ、発熱、破裂や発火の原因となります。

分解禁止
分解･修理･改造をしないでください。
液漏れ、発熱、破裂や発火の原因となります。

禁止
液漏れしたとき、"液"に触れたり目に入れたりしないでください。
目に入ると失明などの原因になります。目に入った場合はこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったのち、直ちに医師の診察を受けてください。

禁止
直射日光の当たるところやストーブの側など高温になる場所での使用や放置はしないでください。
液漏れ、発熱、破裂や発火の原因となります。

禁止
⊕⊖端子に金属などを接触させないでください。また、金属製のネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
液漏れ、発熱、破裂や発火の原因となります。

●電池が液漏れしたときは素手で液にさわらないでください。
液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。
●電池内部の液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠警告

取り外したネジなどは、乳幼児の手の届くところに置かないこと
誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
万一、飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師にご相談ください。

本機を廃棄するときのお願い（つづき）

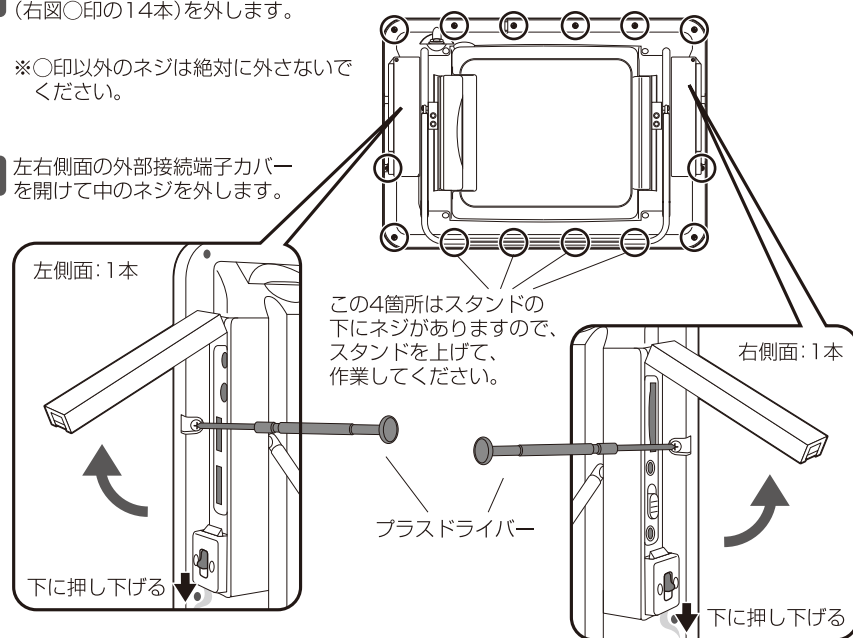
この図は、本機を廃棄するための説明です。分解した場合、修復は不可能です。

ドライバーを使い、以下の手順で分解してください。（ドライバーは付属していません。）

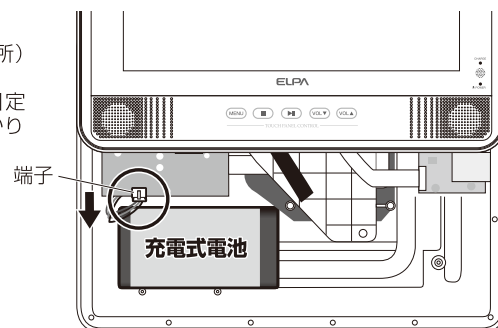
■電池の取り出し方 ※電池を使い切ってから分解してください。

1 プラスドライバーで本機裏のネジ（右図○印の14本）を外します。

※○印以外のネジは絶対に外さないでください。

2 左右側面の外部接続端子カバーを開けて中のネジを外します。

分解した部品は、乳幼児の手の届くところに置かないでください。

3 本体の液晶モニターを上にして置き、液晶モニター部分を外します。

4 緑色の電池から出ている端子（右図1箇所）を抜きます。
電池と本体カバーは両面テープで固定されていますので、本体カバーをしっかり押さえて電池を取り外してください。

使用済み充電式電池の取扱い
- ●端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- ●分解しないでください。

製品仕様

防水レベル	IPX7相当（旧JIS防水保護等級7　防浸形）	
電　　源	内蔵バッテリー	リチウムイオン充電池　7.4V　2400mAh
	ACアダプター	AC100V 50/60Hz
	車用シガーアダプター	DC12V
消費電力	18W	
バッテリー充電時間	電源オン時：約9時間　　電源オフ時：約5時間	
バッテリー持続時間	DVD連続再生時間：約3時間30分	
	ワンセグ視聴時：約3時間30分　　フルセグ視聴時：約3時間30分	
入力端子	SDカードスロット、マイクロSDカードスロット、AV入力 miniB-CASカードスロット、DCジャック	
出力端子	AV出力、イヤホン	
対応メディア	DVD、DVD−R/RW、音楽用CD、CD−R/RW、SD/SDHCカード（16Gまで）※①	
再生可能フォーマット※②	DVD	ビデオモード、VRモード(CPRM対応)
	SD	JPEG、MP3
	CD	VCD、SVCD、CD-DA、MP3、WMA
液晶パネル	10.1インチTFT液晶（225×127mm 16：9ワイド画面）	
解像度（画素数）	1024RGB（H）×576（V）	
スピーカー	ステレオ、実用最大出力1.5W+1.5W	
受信周波数	受信周波数：UHF13〜62ch※③、受信放送：ISDB−T 選局方式：オートチャンネル・プリセット・サーチアップ・サーチダウン	
本体寸法	約285×204×48（mm）	
本体質量	約1,150g（内蔵バッテリー含む）	
付属品	ACアダプター、リモコン、車用シガーアダプター、AVケーブル マグネットアンテナ（約3m）、F型接栓アダプタ、アンテナキャップ 車載用ヘッドレストカバー、miniB-CASカード アンテナ取付用六角レンチ、取扱説明書（保証書）	

※①ディスクは12cmのみ対応
※②機器同士の相性により、再生できない場合もありますので、ご了承ください。
※③データ放送の受信には対応していません。

■リモコン

防水レベル	IPX6相当（旧JIS防水保護等級6　耐水形）
電　　源	CR2025コイン形リチウム電池×1個（テスト用付属）
本体寸法	約145×59×11（mm）
本体質量	約36g（電池除く）

■ACアダプター

定格入力	AC100V　50/60Hz
定格出力	DC12V　1200mA
コード長	約2.5m

保証書

MEMO

お客様がご購入された際の購入情報やその他情報のメモページとしてご利用下さい。

MEMO

お客様がご購入された際の購入情報やその他情報のメモページとしてご利用下さい。

お客様メモ

お問合わせ先

本製品に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店または下記までお問い合わせください。

株式会社アズマ お客様サポート

〒336-0931
埼玉県さいたま市緑区原山3丁目2番10号
受付時間：平日10時～17時（土、日、祝日、年末年始等は除く）

お電話から

フリーダイヤル：
0120−00−8984

パソコンから

Eメール：
support@azuma-kk.co.jp

ELPA 朝日電器株式会社

〒574-8585 大阪府大東市新田旭町4-10 http://www.elpa.co.jp/
お客様窓口 大阪 072（871）1166 東京 042（473）0159

AZ140207B